

議会報告会報告書

平成30年8月8日

山陽小野田市議会

議長 小野 泰 様

B 班

代表 吉永美子

平成30年6月定例会議会報告会の実施状況について下記のとおり報告いたします。

記

1 開催日時

平成30年 7月27日(金) 19:00 ~ 21:00

2 開催場所

出合公民館

3 参加人数(市民)

7 人

4 担当班議員名

(吉永美子) (大井淳一郎) (岡山 明) (奥 良秀)
(杉本保喜) (長谷川知司) (松尾数則) (宮本政志)
(森山喜久)

5 報告会次第

(1) 市議会代表挨拶

(2) 6月議会の報告

- | | | |
|-------------|----------|--------------------------------|
| ① 総務文教常任委員会 | (森山喜久) | [司会] (奥 良秀) |
| ② 民生福祉常任委員会 | (吉永美子) | [記録] (長谷川知司) |
| ③ 産業建設常任委員会 | (岡山 明) | [受付] (大井淳一郎) |
| ④ 理科大特別委員会 | (松尾数則) | [集計] (杉本保喜)
[器材] (宮本政志) |

6 各班の意見（発表内容）

【A班】

（総務文教常任委員会関係）

- ・庁舎改修は、本館のみなのか。→本館のみで別棟は解体予定。

（民生福祉常任委員会関係）

- ・家屋の火災によりそのまま放置しておく特定空家となり税率がupした。
- ・空家の放置に対し、防犯衛生上問題が出ている。
- ・市営住宅の対応も急ぐ必要がある。
- ・空家対策として、自治会館等に利活用を促進して欲しい。

（産業建設常任委員会関係）

- ・山陽オートの運営は大丈夫か。→山陽オートレース場は厳しい運営が続き、売り上げが減っているが、債務残高が少し減っている。

（理科大特別委員会関係）

- ・学生の居住は市内が大半なのか。→工学部は市内居住が増えているが、薬学部の学生の数字は不明。
- ・市内居住への補助金は、市内居住の手法として有効なのか。市内居住の本質的な対策をすべきではないか。
- ・学生にとって公共交通の整備やコミュニティのあるまちづくりが必要である。
- ・薬草園について、管理は大丈夫か。→江汐公園は市民が触れ合える薬草を植え、大学内の薬草園は管理が必要な薬草を植え管理する。

（その他）

- ・大雨時の厚狭川は、洪水等に対し防災対策は大丈夫か。
- ・防災対策が改善されたら防災マップの見直しは図られるのか。
- ・市有地の売却などを図っていないといけない。
- ・高齢者の熱中症対策として、避難所の設置が必要。

【B班】

（総務文教常任委員会関係）

- ・市の発注業務（設計、工事等）で訂正や追加が多いが、市のチェック機能は十分と言えるのか。
- ・工期不足等で利益確保が難しい。
- ・入札辞退、入札不調が多いが、この原因を明らかにする必要がある。
- ・市役所の延床面積は何平米か。→約5000㎡
- ・部屋が暗いが改修で明るくなるのか。

（民生福祉常任委員会関係）

- ・空家対策に対し、強権発動したケースはない。

- ・ 条例制定してどのように変わったのか、市民には目に見える実例はない。
- ・ 条例制定して5年半が過ぎて、何も実行していないのは意味がない。
- ・ 今後、地元には仕事がないから子ども達が帰ってこないで、空家が増えていく。
- ・ 空家に対する各スペシャリスト（建築業、不動産業等）は商売としてはスペシャリストであるが、行政のスペシャリストではない。
- ・ 他市では古民家を活用して、福祉施設での活用事例がある。
- ・ 空家の所有者を探し出すのが大変である。

(産業建設常任委員会関係)

- ・ 民間委託料6億2千万円支払って、収益保証金が6千万円では、5億6千万円の赤字ではないのか。→単年度黒字を出している。

(理科大特別委員会関係)

- ・ 工事遅延の理由は、発注の遅れ、設計の不備など親方日の丸的な考えで仕事をしているのではないのか。
- ・ 18億円の国から市への地方交付税と15億円の市から大学への運営交付金との差は。→建設工事金の市への返済分と財政調整基金への積立。
- ・ 市が大学運営していて成り立つのか。
- ・ 将来に渡り、定員確保ができるのか。

7 全体での質問・意見・提言等

- ・ 予定の時間が過ぎたので、早く終われというのは失礼ではないのか。

8 回答できなかつた質問事項

なし